

# 第 14 回千曲市景観審議会 議 事 録

令和 7 年 10 月 28 日

千曲市景観審議会



## 第 14 回千曲市景観審議会 議事録

○開催日時 令和 7 年 10 月 28 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 3 時まで  
○開催場所 千曲市役所 第 1 委員会室  
○出席者 委員 10 名（欠席無し）  
副市長  
事務局 （建設部長、都市計画課長、都市計画課計画係長、  
都市計画課計画係係員 2 名）  
説明員 （歴史文化財センター所長、歴史文化財センター主幹）

1. 開 会 都市計画課長 午後 1 時 30 分

2. 副市長あいさつ 副市長

3. 自己紹介 審議会委員、事務局、説明員

4. 臨時議長選出 副市長を臨時議長に選出

5. 景観計画の運用について

事務局から千曲市景観計画の概要、位置づけ、千曲市景観審議会の役割について説明。

6. 議 事

(1) 千曲市景観審議会会長の互選について

◎塚原委員の推薦により佐々木委員が会長に決定

(2) 千曲市景観審議会副会長の互選について

◎佐々木委員の指名により北村委員が副会長に決定

(3) 千曲市歴史的風致維持向上計画について

「千曲市歴史的風致維持向上計画（第 2 期）（案）」について説明

◎委員より質問・意見

○この計画は誰に読んでもらうものなのか、目的が誰なのかわからない。また、

第1期がどれほど出来上がっていて、どこができていないのか。それが見えない状況では審議のしようがない。

→〈説明員回答〉誰に対しての計画なのかについては、基本は市民の皆様、また本計画をもって国等の支援をいただくことになるため、国の担当者にも見ていただくという2つの側面を持っている。1期計画においては、重点地区の事業として八幡地区の街並み整備事業、松田家の周辺整備、稲荷山の伝統的建造物群保存地区の建物の修理修繕事業、智識時大御堂の整備など、6億円ほど規模の事業を行った。その後、毎年市でとっている市民満足度アンケートにて、満足度向上という結果が出ている。1期計画でできなかった点について、1期計画では重点的な事業として八幡地区松田家の整備事業と稲荷山の拠点施設の整備、道路美装化といった環境整備事業の2つを想定していたが、平成29年に発生した松田家の火災により手を付けられなかった。

○書かれている内容は、更埴市史や何かの歴史書と変わりなく、歴史の事実が書かれているだけのように思う。住民にわかってもらう努力をしているのか。また、建造物の持ち主に対して、補助金等の案内などのケアが必要だと思う。人口減が進み維持をしていくことが大変な中で、子供たちに対してどのように周知あるいは協力してもらうのか。国に言われたとおりに作っていくだけでは地域の特性は見えてこないし、千曲市がどのようになっていくのかも見えてこない。全体的に見て、市民の皆様へのサービスはどうなっているのか。これを理解してもらうための対話をしているのか。

→〈説明員回答〉委員の指摘はもっともであると感じている。この計画を策定する一つの大きな目的が、これまで国の交付金・補助金が使えなかった文化財、あるいは文化財の周辺環境の整備事業にお金が使えるようになるということ。また、文化財の周知、後継者の育成といった事業に関しては、本計画だけでなく、令和4年に国の認定を受けた上位計画である文化財保全活用地域計画と連携をして進めていきたいと考えている。

○課題が5つ、90ページに示されていて、それに対する方針は105ページにかかれている。忙しい人はその途中をカットして答えのまとめを欲しいはず。10年後までにこれを行うとか目標目安などを書けばわかりやすくなると思う。また、防犯防災に関する方針は途中に記載があるが、最後にはなくなってしまう。松田館は実際に燃えているし、極めて重要な問題である。予算がかかることであるため、できないということも市民はわかるはずだから、せめて市はこう言ったことを考えているのだとわかるようにお願いしたい。

○この案はホームページにアップロードする予定か。これそのものをアップロードするのか？

→〈説明員回答〉アップロードする予定だ。

○パブコメは市報の 11 月号で募集し、11 月 28 日までとなっているが、市民のからの意見は出づらいのではないかと思う。専門家の先生方が難しいとおっしゃられるものは、市民の方はなおさら理解しにくいのではないか。パブコメは 11 月いっぱい締めないと計画的に無理なのか。

→〈説明員回答〉パブコメが終わった後に、いただいたご意見を基にこの案を修正し、歴史的風致維持向上協議会で承認、市長への答申、国への認定の申請、そして国からの認定決定というスケジュールがある。概ね来年の 1 月後半から 2 月頭までには国に申請を行わなくては年度内の認定には間に合わないため、パブコメ後の修正、三省庁との協議スケジュールを考えると現在のスケジュールでギリギリである。

○どれくらいの人数のパブコメが欲しいのか。また、そのためにどのような努力をしているのか。働きかけ等を行わないでただパブコメをくださいと言っても、これだけのものを読む時間と評価する時間を考えればパブコメは出てこない。教育関係の人たちや、本日出席されている団体の方などに依頼をするべきではないか。国交省から補助金を取ることを大前提だとしても、それとは別に市民用にダイジェスト版などを作るべきではないか。この計画を作り、国交省から認定される、というのは手段であり、目標ではない。

→〈説明員回答〉具体的に何件のパブコメが欲しいという数字は持ち合わせていない。パブコメのホームページへの掲載の仕方等、市民の皆様がこの計画を知っていただくための工夫をしたいと考えている。

→〈事務局回答〉パブコメは市の条例に基づいて進めていく。条例では案ができてから 30 日間以上市民の意見を問うとしている。歴史的な内容、確かに非常に難しいものになっている。歴史的風致維持向上協議会の中でも、市民の皆様は我々千曲市がどれほどの歴史的な「お宝」を持っているのかということを知っているのかと意見も出ている。この計画ができれば、その概要版などという形でこの計画を皆さんにどのようにわかっていただくかが重要だと思っている。認定の暁にはしっかりと周知に努めていきたいと考えている。

○歴史的建造物の 8 番にある瀧澤家について、大変由緒ある家だそうだが、現在は茅葺屋根が腐ってしまって雨漏りをするので青い波トタンを差し込ん

で雨漏りをしのいでいる状況だ。歴史的建造物の1つが景観としても大変悪い状況であるが、これからどのようにして修理なり改善を行う予定なのか。

→〈説明員回答〉国の登録有形文化財である瀧澤家住宅だが、だいぶ屋根が傷んでいることは把握をしている。所有者の方が東京にいる関係上連絡が取りづらい状況ではあるが、今後の修理について相談をしている。だが、修理に当たって文化庁からの補助金は見込めない。設計監理料は補助対象であるが、工事本体の事業費は対象外である。歴史的風致形成建造物候補として掲載しているが、歴史的風致形成建造物として指定をすることによって補助金を取ってくるができるようになる。そのため、できるだけ所有者さんに負担がかからないように計画を立てていければと考えている。

○その所有者さんというのは長男の方で東京にいるが、お母さんは常時千曲市にいるはずだ。この話はお母さんのほうでも進めることはできるのではないかと思う。現在の状況から見ると、早く対応したほうが良いと感じている。

○国のほうでもお金がないはず。やろうとしていることはわかるが、これは簡単な話ではない。こういう形にすれば文句なくできるとは考えずに、絵に描いた餅にならないように注意が必要だ。

○歴史的風致形成建造物の候補から、緊急性の高いものからどんどん指定していくという方針か。

→〈説明員回答〉この候補一覧に乗っていない建物に関しても、指定することの可能な建物が出てきて、修理したいということであれば、計画の変更により付け足していく考えでいる。

○補助における自己負担率は半額か。

→〈説明員回答〉補助メニューにもよるが、最も高い補助率で3分の2までで。実際に松田館跡ということで歴史的風致形成建造物に指定をしていた松田家斎館の修理には3分の2の補助金を交付した。

○樹木、植物は歴史的風致の向上にあたって大事な存在であると思う。千曲市の特徴として、あちらこちらにあんずの木があることが挙げられる。この計画案のなかでは建築物のことは話に出ているがそういったこと（樹木、あんず）は見られない。

→〈説明員回答〉歴史的風致維持向上計画は市街地景観を維持するということが基本的な目的。樹木や農村景観といったものはこの計画の中で挙げづらい

というのが事実。この計画には農水省も絡んではいるが限定的であり、メインは国交省であるため載せにくい部分ではある。

○ランドマークとされているような木が倒れてしまわないように枝を切るといった場合の管理費助成は出るか。

→〈説明員回答〉未指定の天然記念物ということになるが、正直なところ助成金はない。ただ、千曲市には景観樹木というもので管理料に年間数千円ずつ支払っているものもある。その点、他の自治体よりも有望であると感じている。

○この計画の中では取り扱えないか。

→〈説明員回答〉取り扱えないというのが実情だ。

○関連で、福井区には公民館前に地域の人達がとても大切にしている桜並木がある。その枝が車道にまで伸びてしまっているということで市に依頼して切ってもらったが、その切り口に防水剤を塗らなかったために水がしみ込んで、凍って割れてウロができてしまった。市で手配する際にはそういった配慮をお願いする。

○歴史的地区に空き家が増えている。こういった空き家は景観に対してもよろしくないだろうと感じている。空き家問題はこの審議会だけでは何とも言えない話ではあるが、そのあたりも絡めて考えていただければと思う。

人口減・空き家対策は千曲市でも取り組んでいるものだと思う。そのあたりの方針等あれば。例えば稲荷山のあたりはどうなっているのか。

→〈説明員回答〉空き家問題に関しては建築課の空き家対策係のほうで空き家関係の計画を作っている。稲荷山の重伝建地区においては空き家対策係と歴史文化財センターとで話をしながら進めている。具体策として、拠点施設の整備という形で昨年重点建築の一角の空き家となっていた土地を利用して整備を進めていくという方針を定めた。空き家バンクに関してはふるさと振興課のほうで進めていると聞いている。

○私が区長をやっていた時に空き家マップというものを作り、空き家の所有者と連絡がつくように市に届けた。市に持ち主について知りたいと聞いても、プライバシーの問題で答えられないとなったり、実際に持ち主の方に話をしに行ってもなかなか話が進まなかったりする。この空き家問題は景観の議論をするにあたっては必要になってくるものと思うのでお願いしたい。

○空き家対策委員会のほうで審議している。その時には空き家マップも利用をさせていただいた。建築士のほうでも調査に入っている。景観と空き家対

策の関連も重要ではあるが、今日は歴史的風致維持向上計画第2期（案）の話をメインに進めていければと思う。

○私の所属団体には非常に熱心な方もおられるため、資料を数部いただきたいが可能か。ぜひパブリックコメントを出していただきたい。

→〈事務局回答〉必要な部数を言っていいただければ、後ほど用意する。

◎以上の委員の意見を踏まえたうえで、事務局説明のとおり手続きを進めることで決定

## 7. 景観計画区域内行為届出状況について

事務局から令和4年4月から令和7年9月末までの届出状況について説明

## 8. 閉 会

都市計画課長

午後3時